2021(令和 3)年 4 月 1 日発行 Ver.15

ポプラの綿毛

2021 年（令和 3 年）4 月号

発　行：北海道大学
環境健康科学研究教育センター
研究代表者：岸 玲子

みなさん、こんにちは！いつも研究にご協力いただき、ありがとうございます！

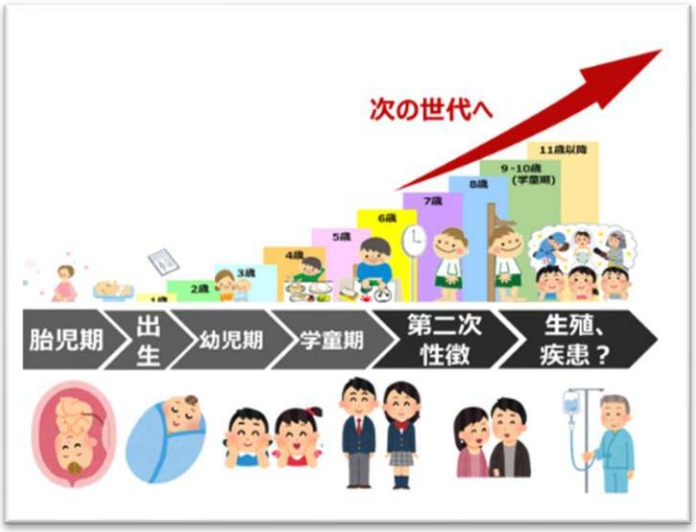
北海道スタディ　祝 20 周年！

2001 年より始まった北海道スタディは 2021 年で 21 年目を迎えます。これまで北海道スタディへの参加を続けてきてくださったお母様方ならびにお子様方に心より感謝いたします。

研究代表者 岸玲子

「環境と子どもの健康に関するモニタリング調査（北海道スタディ）」は 2001 年から 10 年かけて北海道に住む妊婦さんに参加登録いただき、生まれてきたお子様の健康と成長を現在も追跡しています。特に、「身の回りの化学物質が子どもの健康にどのような影響を与えるのか」ということに焦点を当て、妊娠中のお母さんの血液から測定した化学物質濃度と、お子様の成長や発育との関連について検討をしてきました。参加者さんの中でも、最年長のお子様は 18 歳を迎え、また最年少のお子様は 8 歳となります。

「北海道スタディ」では、お母様の妊娠中にいただいた血液や出産時の臍帯血、また、ご返送いただいた調査票の回答から、出生時、乳幼児期、学童期の健康について、これまで多くのことが明らかになりました。例えば、現在は製造・使用が禁止されているダイオキシン類や有機塩素系農薬※の濃度が高いほど、生まれてくる赤ちゃんの出生児体重が低い、1 歳半までに中耳炎になりやすい、また 1 歳半での精神発達に遅れがみられることがわかりました。また、撥水・撥油性コーティングとして日用品に使用される有機フッ素化合物やプラスチック製品に使用されるフタル酸エステル類の濃度が高いほど、ステロイド合成や性腺機能に関与するテストステロンやプロゲステロンの出生時（臍帯血）の濃度が低い、また、生後 7 歳までの感染症のリスクが高いことなどがわかりました。このように、日常生活でさらされる妊娠中の化学物質の濃度が比較的低濃度でも、生まれてきたお子様の健康や発達、内分泌や免疫機能に影響があるということが明らかになりました。

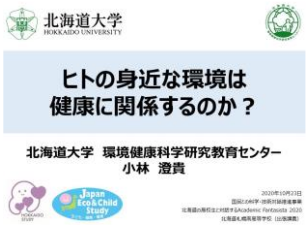


これまでの「北海道スタディ」では、妊娠中から出生時、乳幼児期、学童期の調査を続けてきました。現在は、生後のお子様が日常生活の中でさらされる化学物質との関連や、学童期、思春期の健康についても研究を進めています。今年から多くのお子様が思春期を迎えます。これまでお母様方にご協力いただいていた調査票を、今後はお子様ご自身にも回答をいただくとともに、「参加者」として研究へご協力いただければと考えております。そして、お母様からスタートした「北海道スタディ」が思春期を経て成人期を迎えるお子様へとバトンを渡し、お母様とお子様とともに将来の健康や病気の早期予防に繋げることができるよう、お子様世代に向けた新たな 10 年として研究スタッフ一同、引き続き調査を続けて参りたいと思っております。今後とも「北海道スタディ」をどうぞよろしくお願いいたします！

※環境や生体内で分解・排泄され難い化学物質であるため、規制後も環境中や体内に残存していることが知られています。

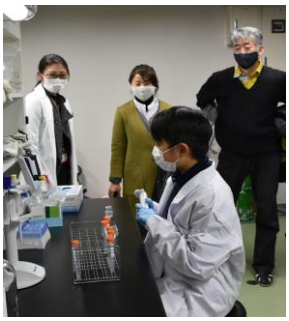
高等学校へ出張講義を行いました

2020 年 10 月 23 日（金）に北海道の高校生と対話する Academic Fantasista 2020【国民との科学・技術対話推進事業】の一環として、当センターの小林澄貴特任講師が北海道札幌南高等学校で「ヒトの身近な環境は健康に関係するのか？」という出張講義を行いました。「妊娠中の環境が、生まれてから数年後の子どもの発育や発達にも影響することが印象に残った」などの感想をいただきました。



北海道スタディ参加者さまの依頼で講演会を行いました

2020 年 12 月 9 日（水）に当センターのアイツバマイゆふ特任講師が、「北海道スタディ」の参加者様のより依頼を受け、「環境と私たちの健康」をテーマに講演会を行いました。「できることから取り入れて、自分や子どもや孫の健康に役立てたい！」「今後の日用品の選び方の参考になりました」「赤ちゃんが生まれてから健康に育てたいと思うけど、生まれる前からということに気づきました」など講演会の参加者さんより多くの感想をいただきました。今年は、コロナ禍で大規模な講演会はできませんでしたが、今後も引き続き「北海道スタディ」より得られた成果を市民の方々へわかりやすく発信していきたいと思っております。



参加者さまがセンターを見学されました

北海道スタディ参加者の重野さまご家族が、当センターを見学されました。スタッフより北海道スタディについての説明を行い、調査票の開封作業、血液や尿を保存している冷凍庫、尿の中に含まれる化学物質の分析を見学し、化学物質分析の模擬体験などをされました。今回のご経験でより一層、「北海道スタディ」に興味をお持ちいただけましたらとても嬉しい限りです。

※見学は随時受け付けておりますが、新型コロナウィルス感染症の感染状況により中止することがあります。詳しくは、北海道スタディ事務局（kodomo@cehs.hokudai.ac.jp）までご連絡ください。

当センターでは対面調査を実施するにあたり、常時職員全員マスクの着用、消毒、換気、検温など、新型コロナウィルス感染症対策に努めております。

お手元に残っている 調査票はありませんか？

「回答時期から結構たっちゃったけど・・・」という場合もぜひご返送いただけますようお願いいたします。

いつも研究にご協力いただき本当にありがとうございます。

環境健康科学研究教育センター：https://www.cehs.hokudai.ac.jp/
北海道スタディ：https://www.cehs.hokudai.ac.jp/hokkaidostudy/
研究成果「ひろば」：https://www.cehs.hokudai.ac.jp/hiroba/

HOKKAIDO STUDY